

徹底解剖！やりたい

ことがわからなく

なる現象①

～幹と枝葉を連携させよう～

コア学サロン 2022 年 5 月

やりたいこととの付き合い方

今回は『やりたいことがわからなくなる現象』について解剖していきます。

やりたいことをしようとか、ワクワクすること
をやろうという風潮って、スピリチュアル
業界、心理学業界では昔からすごくポピュラ
ーな法則として言われていますし、皆さんも
聞いたことがあると思います。

やりたいことをやろうって頭では思うんだけ
ど、苦しくなってしまう方や、やりたいこと
を探求して向かっていくんだけど、途中でや
りたいことがわからなくなってしまう方。

やりたいことがあったのに急にやりたい気持
ちがなくなってしまう方など、やりたいこと
に対して不安定さを感じる方も多いのではな
いかと思います。

じゃあ一般的にスピリチュアル業界で言われている「やりたいことやれば人生がうまくいく」という本質はどこにあるのか？

実はどういうことを言ってるのか？について解剖していきたいと思います。

その上で、自分のやりたいこととうまく付き合っていけるといいなと思っています。

ですから今回は、やりたいことを見つける方法を教えるとかではなくて、もう少し大きな意味でやりたいことってどういうことなのか、そのコアな部分に迫っていく内容になっています。

やりたいことを「観光業」だと

とらえてみる

まずお聞きしますが、やりたいことに関してちょっと苦しい思いをしたり、葛藤したことがある方はいらっしゃいますか？

やりたいことって言われてもわからないし、やりたいことをやってる人がキラキラして見えて、やりたいことがわからない自分ってダメなのかなって思った方とか。

「やりたいこと」っていうキーワードによって、ちょっと苦しいなと思ったり、傷ついたり、自分を責めたり、罪悪感を感じたことが

ある方は、半分以上いるんじゃないかと私は推測しています。

やりたいことをやると人生がうまくいく、神様に応援される、宇宙が応援してくれるといったフレーズは、本質まで行けばその通りってわかるんだけど、まずは観光業とかマーケットみたいなものだと思ってみてください。

やりたいことをやるのが成功であるとか、やりたいことをやってる人生が素晴らしいというイメージやニュアンスを皆さんが持つことによって、そこから付随して生まれるビジネスや商売がたくさんあります。

これを観光業だにとらえてもらおうとわかりや

すくて、例えば地方再生とかね、いままで全然人が行かなかった地方とかエリアを盛り上げるぞって観光地化したとします。

そうすると、そこに来る人が増えるわけで、レストランとかお土産屋さんとか宿とか、職人さんがいる地域だったら伝統工芸のお店とか、人がたくさん集まることによって利益を得る人やメリットを受け取る人がたくさんいます。

やりたいことをやろうってところに人が増えれば増えるほど、その人たちに向けて、アイスクリームいかがですか？このお店いかがですか？ここにも行きませんか？って商売する

人がいっぱい増えるわけです。そういう意味で観光業なんです。

だから、嫌な気持ちや不幸な気持ちで過ごしている人は、そういう法則を聞くと、自分はやりたいことをやれてないから幸せじゃないんだ、やりたいことを見つければ苦しみから解放されるんじゃないかっていう解釈をしちゃうわけです。

それが良い悪いってことではありません。こういうことが起きてるのか仕組みを知ることはずごく大切だけど、観光業自体を否定するつもりは私にはない、ということだけ知っていただけるといいなと思います。

やりたいことだから起きるおかしな現象

しな現象

観光地になると皆さん遊びに行くわけですが、ただ、遊びに行ったら違和感を感じる人もいます。

別にわざわざこの観光地に行かなくても、家の近くの公園でいいよねって気付く人もいます。そうすると、そこに行かなくなりますよね。

でも、やりたいことをやろうぜっていう観光地に遊びに行くとすごく刺激的で、そこにいる人たちは人生に対してすごく能動的で成功

しているように思えるから、そこに行きたい
なと思って行くんだけど、しばらく過ごして
ると家に帰りたくなったりします。

観光地に行ってしばらく非日常を味わうんだ
けど、やっぱり家に帰ってお味噌汁飲みたい
なみたいな気分になった人は家に帰るわけ
です。

だけど、いまいる場所が好きじゃない人にと
ってはすごく刺激になるので、欲しくなりま
す。また旅行に行って刺激をもらって楽しん
で、また日常に戻るみたいなことが起きてい
るわけです。

旅行するのがダメっていうわけではないし、

観光地って特産物の屋台が出てたり、お土産屋さんが客引きしたりしますよね。

それを普通に商売すればいいのによって考える必要はなくて、観光地はそういうやり方でいいんだからってとらえたら、やりたいこと産業、やりたいことビジネスという大きな産業とうまく付き合っていける気がしませんか。

観光業だと思ってください。観光業で生活をしていて、それで家族を養っていて、それでその人たちの生活があるって思ったら否定感情もなくなりますよね。

例えば、私はゴールデンウィークで西表島に行って非日常を味わいました。西表島から日

常に帰ってきた時に、すごく気分が下がりました。

旅行楽しかったな、いまの日常とか人生って楽しくないな。これは西表島のせいだっと思う人います？

旅行先がすごく楽しかったから、私の人生はつまらないんだって旅行先のせいにする人は普通いませんよね。

なぜかやりたいこと産業については、そういうおかしい現象が起きるんですね。そうやって考えると、ちょっとニュートラルに見れるんじゃないかなと思います。

「幹 = コア」 「枝葉 = 行動・行

為・言動・反応」

コア学で取り扱う、あらゆる「行為・行動・言動・反応」は木の枝葉です。木の枝葉をたどっていくと木の幹につながります。

例えば皆さんが、好きなこと嫌いなこと、やりたいこと、やりたくないこと、今日思いついたこと、今日食べるご飯、これら全部、枝葉です。

枝葉をたどって行くと、必ず幹があります。この幹のことをコアと呼んでいます。幹は地面に根ざしています。